



初期消火活動を行い感謝状を受けた林純薬工業(株)三重工場の皆さんと瀧署長(前列右)＝多気町仁田で

# 延焼を防ぎ感謝状

松阪広域消防  
南消防署贈る  
**林純薬(多気町仁田)「訓練生きた」**

多気郡多気町仁田の休耕田で起きた火災を初期消火し延焼を食い止めたとして、松阪地区広域消防組合松阪南消防署(瀧伸行署長)は23日、同所の林純薬工業(株)三重工場に感謝状を贈った。

火災は4日午後1時40分ごろ、同工場の北東側に隣接する休耕田で、野草が延焼し、刈り草や

のり面など約200平方メートルが焼けたもの。野焼きをしていた2人はペットボトルで消火を行ったが、広範囲に広がった。偶然通り掛かった同工場の従業員が気付き、「煙がすごく、手に負えない」と119番通報し、自身も急いで工場へ消火器を取りに向かった。その様子を見た他の

従業員ら約20人も消火器15本を集め、消火に向かい、消防隊が駆け付ける前に鎮火でき、けが人も出さなかった。

この日午前10時から同工場で贈呈式があり、瀧署長(60)から、太田博彰工場長(50)が感謝状と応急手当てに必要なグッズを受け取った。

瀧署長は「早期発見と初期活動に努めていただき、誠にありがとうございます。今後も消防活動にご協力をお願いします」と感謝。太田工場長は「毎年社員を集めて消火器を使った訓練を行っている。1995(平成7)年に建設以来、火災が発生したことがなかったのが驚いたが、訓練を行っていたので対応することができた」と話した。